

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションで児童に対して必要なスペースを確保できるように配慮している。	
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		児童に合わせて視覚化や構造化を行っている。	段差や階段があるため棄権の必要のある児童は職員間で情報共有を行っている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		児童の状態をアセスメントした状態で環境設定を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員間で行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価実施を行い利用者の方のニーズを把握したうえで改善に努めている。	支援以外でも保護者の方より希望があれば面談が出来るような機会を設定したい。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPにて公開している。	今後もブログにて情報公開を行っていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に行っている。	研修や事例検討をもとに事業所での改善点を想起して取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的支援計画を作成している。	保護者のニーズや職員間での情報共有を行いながらアセスメントを行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用している。	遠城寺式やMCプログラムを使用しアセスメントを取っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿って個々の児童に必要な支援内容を選択している。	個々の児童に合わせて状態把握を行いながら多方面での支援を考慮して支援内容に反映させている。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に基づいてプログラムを設定している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童がプログラムに飽きないよう工夫している。	児童の状態を見ながら自発的にプログラムに取り組めるよう工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別支援が主となっている。	イベントを通して時には集団療育も行っていけるよう計画している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝朝礼にて行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日終礼にて行っている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容や支援記録は毎回行っている。	支援の中での児童の様子や保護者の方の要望など細かく記録として残している。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		3カ月毎に行っている。	児童の状態や保護者のかたの申し入れによってその都度見直しを行う。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童の状態に精通したものが会議に参加している。	他事業所や教育機関との連携を密に取りながら多方面でも支援を行う。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関との連携に取り組んでいる。	保護者の方の要望により関係機関との連携を図り、児童により良い支援の充実を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		重症心身障害の児童は受け入れていない。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		重症心身障害の児童は受け入れていない。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		各機関で情報共有が出来るよう取り組んでいる。	定期的に各機関に訪問したり、担当者会議などで情報共有に努めている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		各機関で情報共有が出来るよう取り組んでいる。	定期的に各機関に訪問したり、担当者会議などで情報共有に努めている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関との連携に取り組んでいる。	保護者の方の要望により他の専門機関での連携が取れるよう取り組んでいる。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		現在は実施していない。	

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		定期的に参加している。	支援の質の向上の為定期的に参加していく。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日常的に普段の様子を共有している。	フィードバック時に児童についての状況を保護者の方より聞き取り記録している。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		必要な場合は支援に保護者の方も参加してもらっている。	保護者の方の要望やこちらが必要と認めた時には実施していく。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	その都度質問があれば適切に回答している。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		提供すべき支援を計画に示しながら説明している。	保護者の方からの質問にいつでも対応出来るよう分かりやすく説明できるよう心掛けている。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要な支援と助言に取り組んでいる。	児童に対するに津城生活での困りごとに対して助言できるよう心掛けている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在実施していない。	保護者の方より要望があれば実施を試みたいと感じている。
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応できるよう取り組んでいる。	保護者の方より要望により行っていく。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		H P 上にて公開している。	事業所の日々の取り組みや支援内容について定期的に発信している。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人上は鍵付きの書庫にて保管している。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		親子の意思疎通のすり合わせに取り組んでいる。	児童からの状態や気持ちを汲みながら保護者の方へ助言している。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在は行っていない。	地域に根差した事業所となるよう今後計画していく。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		研修を行い保護者の方にも周知している。
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難、防災訓練を行っている。	毎月様々な事態を想定しおこなっている。また児童に参加を求めている。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		内服薬の把握を行っている。	支援中様子がおかしければすぐ保護者へ伝えられるよう内服薬の把握を職員間でも行い状態観察をしている。
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの把握を行っている。	事業所内で飲食は行わないが支援具に対象の物が無い確認している。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日常的に共有している。	危険因子の把握が出来る体制作りと小さな危険も回避できるよう、心掛けると共にその様な状況が発生した時点で記録し、職員間で情報共有している。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修に参加している。	今後も継続して研修の実施、参加をしていく。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に行っている。	本当に身体拘束が必要なのか職員間で共有しながら身体拘束ゼロを目指している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校 保護者等数（児童数） 17 回収数 7 割合 42%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	3			机上課題では適切な広さだが体を動かす遊びではせまめです。	体を動かす課題では十分なスペースが確保できるよう配慮します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1			もう少し多い方がいい。	人員配置については現在調整中です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	3			・仕切りがあるのでその中で活動することは子どもにもわかりやすい。 ・自立歩行出来る子を対象に「とまれ」や「入ってはダメ」なことを視覚的に分かりやすく示している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6			1	まだ通い始めたため判断できない。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	1		
保護者への説	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7					

明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	4			・特性を踏まえた褒め方があるなら教えてほしい。 ・ペアトレではないが適切な情報を提供してくれる。	児童の様子を伺いながら適切な声掛けを助言できるようアセスメントを行う。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6			1	まだ通い始めたばかりの為分からない。	
非 常 時 等 の 対 応	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6			1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	3	1	未就学は情報がすくないのであってもいい。	今後必要な情報を要望があった際に提供できるよう努めます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6			1	まだ相談をお願いしたことがないため分からない。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3		1	3	H Pも見たことがない。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7					
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1		1	契約時に説明していただきました。	
満 足 度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	2		2		
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7				送迎があると尚いい。	送迎については現状難しい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。